

科目名:香粧品化学ⅠⅡ 科目コード:A151 A152

単位名: 理容科ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ

美容科ヘアデザイン・メイク・ネイル・ブライダルスタイリスト・エステティック

エッセンシャルクラス・就職進学クラス

2単位(60単位時間)

開講時期:1学年(前期・後期)

担当教員:上村明央 南仁 川西壽美子 長瀬達雅 江川野俊一

※ 実務経験のある教員等による授業

上村明央

教育職員免許法により、高校工業の教諭の資格を持つ。

自ら、長年教育の現場に携わり、鍼灸院を経営する。

南 仁

教育職員免許法により、理科の教諭の資格を持つ。

長年、理科教員として教壇にたち、また、鍼灸院も経営する。

川西壽美子

薬剤師、臨床検査技師、理科教員の資格を保有。薬剤師として勤務した後、高校で理科を教える。また、大阪私立学校人権教育研究会の指導員でもあり、人権についての講演も多数行う。本校では、豊富な理系の知識を基に、理美容で必要な香粧品についての授業を解り易く授業をして頂いている。

●科目授業の目的と学生の達成目標:

理容師美容師の業務の中で、常に扱う化粧品・医薬部外品類を正しい使用目的で扱うことの重要性を学ぶ。

●成績評価の方法:

前期・後期の定期試験の結果により判定

●教材・ならびに教育方法:

日本理容美容教育センター指定教科書

●この科目の今後の展開:

化粧品成分用語等の専門的な言葉が多くあり、それぞれの目的・使用方法・効果等かなりの暗記が必要とされる。

適宜、実験等を導入しながら、理解を深めるように授業を展開していくことが必要。

回	時限	テーマ:授業内容・従業方法	実務経験のある教員
1~2	4	物質の構成・物質(水)の構造・溶解とコロイド・イオンと水素イオン指数(pH)	
3	2	物質の変化と化学反応	
4~6	6	香粧品の社会的意義と品質特性・香粧品の規制・香粧品の安定性と取り扱い上の注意・香粧品と安全性	
7	2	香粧品の対象となる人体各部の性状	
8~9	4	水性原料・油性原料	
10	2	界面活性剤・高分子化合物	
11	2	色材	
12	2	香料	
13	2	その他の配合成分・ネイル、まつ毛エクステンション用材料	
14	2	皮膚清浄用香粧品・化粧水	
15	2	クリーム・乳液・その他の基礎香粧品	
16~17	4	メイクアップ用香粧品の種類と剤形・ベースメイクアップ香粧品	
18	2	ポイントメイクアップ香粧品	
19	2	シャンプー剤	
20	2	スタイリング剤	
21~22	4	パーマ剤	
23~24	4	ヘアカラー剤	
25~26	4	育毛剤	
27~28	4	酸化・還元反応・タンパク質	
29	2	芳香製品	
30	2	殊香粧品	